



第 16 号
編集兼 発行人
朝日町役場内
九里道守
印刷所 両越印刷

泊小丸山公園

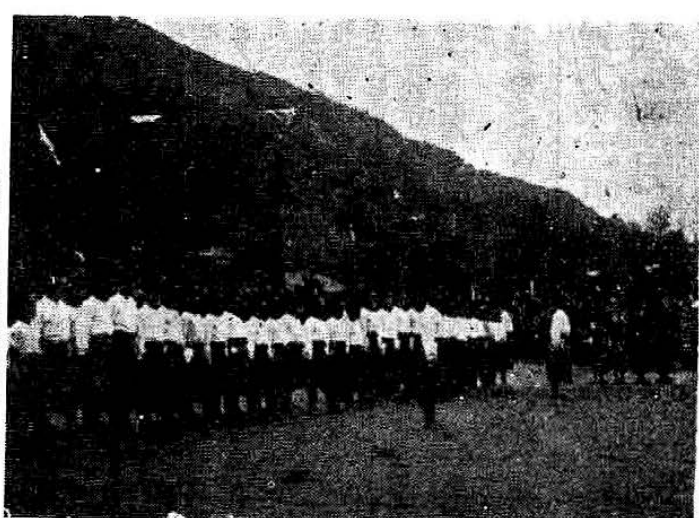
榮枯盛衰は、人為のよくこれを防ぐことの出来ないことは、今も昔も変わりはない。然しこのされた功績は不滅である。泊小丸山公園の開設の跡を顧みて、その感を一層深くするものがある。

有磯両友会のこと

現在の小丸山公園は明治三十年過ぎまでは南面傾斜の畑地であつた。当時の泊町附近の大地主等が此の場所に着目し、自転車競走と射的の開催場として開拓に着手した。明治三十二、三年頃のことである。これがそも／＼小丸山公園の始まりである。当時、有磯両友会を組織した。その会員の主なものは、小沢与三、草野孫右エ門、松田春太郎、中川彦吉、佐野和左エ門、水野百二（以上泊町）竹内弥三右エ門（入善）長島武右エ門（桐山）佐伯有台（魚津在）等の当時の大地主で、金には不足ない階層の人々である。

(写真説明)

於小丸山公園明治三十九年
泊小学校の運動会



即ち銃銃と両方で自転車のクラシクギヤと犬の首輪を描いた七宝のバツ

ジがそれぞれの会員の胸につけられていた。当時の自転車といえ、一般庶民階級には縁の遠いものであつたがイギリス製、アメリカ製の立派な競走用自転車に乗つて、春秋二回の大会が盛大に行われた。又射的の方は、遙々富山より生きたメジロを数十羽数百羽買つて来て、壕の中から、合図と共にとびたゞせるのを、ドイツ製の舶来の銃銃で一斉にこれを打落すのである。生きた小鳥をつかわない時は、素焼の「かわらけ」を特別の装置で、空へ向つて打上げるのを打ち落して、その技を競うので、これも春秋二回の大会が催されたものである。今の山崎写真館あたりに高いマストが建てられてあつて、旗の標識に依つて、今日は自転車競走がある或は射的があると、皆が見物に押しかけたものである。自転車競走場はレースの日の数日前から、凸凹をなおすのに人夫が雇入れられていたものである。

その他春秋二回の大会の他随時、競技が行われた。周囲には桜が植えられ、小丸山公園の桜は、戦時中の食糧増産や、運動場拡張の為に伐さいされる迄、花見客でにぎわつたものである。今温泉附近にのみ桜の老木が残つてゐる。

運動競技場として利用されて来た。

国体富山県誘致と小丸山公認グラウンドの開設

国民体育大会の開催地国内持回りに備えて、富山県では、昭和三十三年度に於て、第十三回大会を開催する見通しとなつたことは衆知のことである。その間地方財政の窮迫によつて、一時持回りが危ぶまれたが、その後の情勢は好転して、再来年度の富山県開催は大体間違いないところである。

朝日町では、富山県大会のうち、準硬式野球（一般）を小丸山公園グラウンドに開催すべく、第十三回国民体育大会々場招致委員会を組織して富山県の準備委員会に対し、その実施を要望し、その準備を進めて来た。これを機会に小丸山公園グラウンドの一大拡張を行い、公認綜合（第四種）グラウンドとしなければならない。と云うのが、朝日町に課せられた大きな問題点である。

新年祝賀名刺交換会

来る昭和三十一年一月一日午前十一時、泊高等学校講堂で恒例により新年祝賀名刺交換会が開催されます。参加希望の方は二十四日迄に各支所或は町内会長へ会費百円也前納申込んで下さい。会員には当日名簿を差上げます。

町政日誌

十一月	十二月
一六日 泊中学校給水工事入札、山崎小学校建築工事地鎮祭並に起工式	二二日 教育委員会臨時出納検査
一七日 宮崎漁港東防波堤完成祝賀式典	二九日 文厚委員会総務委員会臨時町議会あさひ編集委員会
一八日 南保簡易水道通水式	三〇日 臨時出納検査
一九日 管内民生常務委員会自衛官募集映画会 大家庄	四日 臨時出納検査
	六日 大家庄簡易屠殺場の慰霊祭
	八日 産業委員会
	一〇日 社会福祉協議会
	一二日 定例出納検査

町 議 会

第七回臨時議会は十月九日午後三時二十八分から議場で開会され、野中地区に関する調停案の受託勧告について審議され、この勧告案を受託しないことに議決された。



(議)

(会)

(便)

滞納町税一掃に協力を

年末徴税強調月間

本年も余ところ旬日に迫り一年中の締括りと冬ごもりの準備の時期となりました。

さて例年の事ながら年末及年度末は役場にとつても一応の締括りをせなければならぬ時期ですが何時もながら、すつきり片付かぬのが税の滞納であります。本年度も既に町民税、固定資産税共に第三分送令書が発行されましたが十一月三十日現在の収納成績は町民税に於て八二%、固定資産税に於て七〇%の収納率であり余り芳しい成績とは申されぬのであります。後の二週乃至三週間の滞納によつて明るい町政の円滑な運営に一抹の陰翳を与えて居ることは誠に慨はしい事でありませう。

すでに御承知のとおり当町が財政再建団体として国の援助を受けて財政立直しの計画を樹てるに至つたことも過去に於ける滞納が大なる原因の一つであります。町としては此の八

を求める件(学識経験者委員) 泊道下 魚津寅吉

一、黒東合口用水組合議会議員補欠選挙の件 月山 狩谷常作 当選

十一月三十日午前十一時から第九回臨時議会が議会議場に招集され次の議案についてそれ／＼原案どおり可決された。

昭和三十一年度朝日町歳入歳出第二回追加更正予算

昭和三十一年度朝日町国民健康保険特別会計歳出第二回更正予算

昭和三十一年度朝日町宮崎自然博物館特別会計歳入歳出第一回追加更正予算

字名改称並に区域変更の件

松原 茂・朝日町監査委員に就任

地方自治法が改正施行され監査委員の任期が三ヶ年となりました。改正前は任期二ヶ年でありましたが、去る九月任期満了になった議会選出委員の後任として松原茂氏が九月八日召集の臨時議会において満場一致の同意を得て再任されました。氏は

り課せられた税金は是非完納して身事も軽く明るい新年を迎えられん事を切に御願いたします。納めやうと思う真心さえあればいくらでも方へ御相談願います。

は、十月任期満了になりましたので、その後任として十月開設の臨時議会において同意を得られ就任された魚津寅吉氏は旧食糧官時代から現泊米穀共同販売所長であり、これまた会計経理に明るい方であり、本町は財政再建団体として指定を受けて今後八ヶ年間窮屈な財政を続け行かねばならぬので、冗費を省き最小の経費を以て、最大の効果を挙げることを目的とする地方公共団体のため両氏の就任は一段と光彩を放つものと期待し且つ確信するものであります。

昭和三十一年度諸税調定額及収納、滞納額表

地区	町民税	法人	固定資産税	自動車荷車税	水利地益税	合計	収納率 %
野中	1,206,705	2,400	2,110,240	113,282	407,938	3,840,565	69.53
大家庄	854,636	2,400	1,442,390	89,782	280,982	2,670,190	97.26
山崎	352,069	0	667,850	23,500	126,956	1,170,375	93.33
保	3,018,256	115,020	3,754,760	221,140	537,635	7,646,811	96.53
五箇庄	2,994,537	2,400	3,697,897	213,939	528,796	7,437,562	97.26
山崎	23,719	112,620	56,876	7,201	8,839	209,249	91.72
保	1,665,554	120,618	2,914,920	157,246	222,931	5,081,269	91.72
五箇庄	1,568,556	112,369	2,702,320	149,246	209,743	4,742,234	96.53
山崎	96,998	8,249	212,600	8,000	13,188	339,035	91.72
保	1,350,491	1,200	2,332,260	105,440	233,026	4,022,417	96.53
五箇庄	1,301,321	1,200	2,247,280	100,046	233,026	3,882,873	96.53
山崎	49,177	0	84,980	5,394	0	139,544	91.72
保	1,639,704	5,452	2,033,180	106,444	214,505	3,999,285	91.72
五箇庄	1,486,329	5,452	1,871,990	100,612	203,684	3,668,063	91.72
山崎	153,379	0	161,190	5,832	10,821	331,222	91.72
保	4,378,766	410,801	5,656,002	323,699	736,517	11,565,785	81.91
五箇庄	3,710,356	216,232	4,546,068	287,204	713,130	9,472,989	98.75
山崎	668,411	194,569	1,109,934	36,495	83,387	2,092,799	98.75
保	609,056	2,400	1,081,000	126,226	1,818,682	1,818,682	98.75
五箇庄	604,779	2,400	1,064,360	124,419	1,307,224	1,307,224	98.75
山崎	4,277	0	16,440	1,807	1,307,224	1,307,224	98.75
保	545,655	2,582	797,986	86,025	1,307,224	1,307,224	98.75
五箇庄	519,609	0	768,006	81,059	1,307,224	1,307,224	98.75
山崎	26,041	2,582	29,980	4,966	1,307,224	1,307,224	98.75
保	5,326,528	0	1,807,130	1,807,130	1,807,130	1,807,130	98.75
五箇庄	5,127,652	0	1,767,850	1,767,850	1,767,850	1,767,850	98.75
山崎	198,876	0	39,280	39,280	39,280	39,280	98.75

◎八ヶ年で赤字解消

近時国の緊縮政策による財政のシワ寄せがいろいろな面で地方公共団体に負荷せられ、加えて町村合併等により急速に事業が実施されたため、全国的に府県や市町村の七、八〇％までが赤字財政になやむ赤字団体であり、本町もまたその赤字に悩む団体の一つであります。

国においてもこの地方公共団体の財政の危機を深く憂慮し、何とか財政的に正常なものにして、名実ともに健全な地方自治体本来の姿に再建しなければならぬと言ふことで、町村の財政再建が国家の施策として大きくとり上げられ、昨年十二月「地方財政再建促進特別措置法」が制定公布されたのであります。

この法律の概要については本誌五月号に述べましたので、ここでは省略致しますが、本町でも法の適用を受けるかどうかについて行政上の効果、今後における政策の方針、その他について徹底的な調査研究を行い、町議会の全面的な協調支持を得て、町の財政全般について慎重に検討した結果、町の自力で財政の立直しを計るより国の援助によつて財政の再建を図る方が、町政運営の上からいろいろの点で得策であり、朝日町百年の大計のためにも法の適用を受けるべきであるとの結論に達し、本年五月町議会においてこの旨申出をすることの議決がなされ、自治庁長官に申出たのであります。引続き具体的な財政再建計画の立案に着手し、一応八ヶ年における再建計画を策定、十月二十日臨時町議会の議決を得ましたのでその計画承認の申請を自治庁長官に提出しました。

◎再建計画の概要

財政再建計画の内容はおおむね次に掲げるとおりであります、その骨

子は昭和二十九年度末の実質赤字額六千六百余万円のうち政府資金、その他（財政再建債）で四千八百万円を導入して、この赤字額を一挙に解消し、昭和三十一年度から昭和三十八年度までの八ヶ年計画によつて、この財政再建債を返済しようとするものであります。この再建債については国の利子補給があり、実際は三分五厘の融資となります。この八ヶ年の償還期間中に町の行財政全般にわたつてその運営を合理化し、諸経費を節約し、朝日町将来の基礎を築き上げるために具体的な八ヶ年間の朝日町の財政再建の年次総合計画を策定したものがこの財政再建計画であります。なお別掲の才入才出計画を見て戴けばお気づきのようによつて大抵後年度になるに随ひ漸次才入才出額が減少して居ることです。すなわち昭和三十二年と昭和三十三年年度の総額を比較してみますと、

朝日町財政再建計画でみる

約一千九百万円余り減少しています。この原因は地方交付税が年々減少して行くためであります。現在の交付税は、国が合併町村育成のための特例を設け、特別に交付税を増額して交付して居るためであります。しかしこの特例の適用されるのも合併してから五ヶ年間で、六年目以降にはこの特例の適用が次第に減少され、交付税の額も年々減つて行くわけですから、この交付税の減少によつて一般財源に不足を来し、これが事業費等に支障を来し、事業費を圧縮せざるを得ないこととなるのであります。更に事業費が減少されることに伴つて必然的に国、県支出金も減る結果となるのであります。

◎再建の基本方針

財政再建の基本方針としては、
①総合的事項
一、行政規模の合理化を図り、町の財政力に適合させる。
二、組織の簡素合理化のため、支所の統合整理と本庁の職制機構に再検討を加へる。
三、職員配置の合理化のため、適材適所と、各課各所の事務量、職員定数の再検討を加へると共に、職員数の削減、現任訓練を行い職員の成績向上、事務処理の能率化を図る。
四、予算執行の合理化のため、收支の実情把握、予算の執行計画、資金計画の調整、予算配当及び会計の計画性、歳入の確保、経費

を確保する。

二、法令による手数料は最高限度額を確保し、その他手数料等については、類似団体の状況を比較検討して増収に努め、町税の延滞金及び延滞加算金の完全徴収を図る。

◎再建の具体的措置

基本方針に基いて実施される具体的な事は次のようです。

①歳入について

消費的経費の抑制及び節減
一、人件費については昭和三十一年度において人員整理を断行して、最少限度の人員に圧縮したが、財政力に相応した適正給与費総額を算定して予算の減額を図るとともに昇給等については、職員の適正配置による職員の新陳代謝及び各年度の自然増収等による財源で行う。

二、物件費は昭和三十一年度の総額を基礎として、一定額の節減をはかる。特に交際費及び食糧費については極力抑制する、その他の需用費については、定期刊行物の整理、電話の制限、諸帳簿の簡素化、文書の印刷及び発送方法の合理化、用品調達改善、並に各種施設の整備を実施し、経費の抑制節減を図る。

三、補助交付金及び寄附金、負担金は極力抑制しその総額については法定どおり前年度の基準財政需用額の百分の三に圧縮する。

投資的経費の抑制及び節減

一、補助事業は国庫補助金及び起債の決定額及び許可額の範囲内で当該事業の町政及び町民に及ぼす影響を考慮のうえ実施する。

二、単独事業は必要最少限度の範囲内に止め、特に起債及びその他特

定財源を充当するものにあつてはその範囲内で実施する。

その他の経費の抑制及び節減
一、特別会計に対する繰入金については経営の合理化により漸次廃止する。

②歳入の増収及び確保について
一、特に必要ある場合のほか新税は創設しない。

二、税率の引上げについては昭和三十一年度より町民税の均等割額の引上げを実施したが、なお将来やむを得ない事由ある場合は他の税率の引上げをも考慮する。

三、課税標準の捕捉については課税関係資料のしゅう集整備、課税標準の実態調査、検税方法の改善等適確な課税を図り、国県税関係機関との連絡協調により課税標準の完全捕捉に努める。

四、徴収歩合の引上げについて本庁及び支所において月別、年間徴収計画の策定、その他徴収成績の向上に努め、一方納税組合の指導育成につとめて徴収歩合の向上を図る。

五、滞納整理については、滞納税悉皆調査の結果に基づき、分納誓約徴収猶予、滞納処分及び執行停止等の行政措置を厳正にすると、もに税務相談及び産業行政の援助協力により可及的税源を維持し滞納税の完済を図る。

税外収入の増収及び確保
一、使用料については類似団体の状況を比較検討し極力増収を図る、町営住宅その他施設の使用については適正料金の徴収に努める。

四面へ続く……

二、手数料は地方公共団体手数料令その他法令によるものは最高限度額を徴収し、その他については類似団体と比較の上通常以上の増収を図る。

◎町民の皆さんの御協力を

以上財政再建計画の概要を述べたのでありますが、もとよりこの再建計画は絶対変えることができないものではありません。そのときの状況その他により町議会の議決を得、自治庁長官の許可さえ受ければ変更することができることになってくるので将来これらの変更もあり得ると思いますが、健全財政を堅持して行くことには変わりがないのであります。只この法の適用を受けることによつて、国や県の干渉、監督が強化され、自治体としての自主性がなくなるのではないかと御心配される人もあると思いますが、町が自ら策定したこの再建計画を忠実に実行さすれば、何ら干渉も受けることはありません。

しかしこの計画を完全に遂行するには幾多の創意と努力を要することであり、事業の面等で町民の皆さんに多少の不便を御かけする場合もあるかと考えられますが、町民サービスの低下はつとめて避け、行政運営の合理化によつて一段の向上をはかつて行くよう努めたいと存じますので町民の皆さんの一層の御理解と御支援をおねがいいたします。

× × ×

年度	昭和30年度	昭和31年度	昭和32年度	昭和33年度	昭和34年度	昭和35年度	昭和36年度	昭和37年度	昭和38年度
	入	入	入	入	入	入	入	入	入
1. 新	54,266	52,000	62,332	66,622	68,266	65,556	68,550	65,722	68,894
2. 地方交付税	24,595	24,595	24,595	24,595	24,595	24,595	24,595	24,595	24,595
3. 財政収入	8	8	8	8	8	8	8	8	8
4. 分担金負担金	4,002	4,002	4,002	4,002	4,002	4,002	4,002	4,002	4,002
5. 使用料手数料	2,637	2,637	2,637	2,637	2,637	2,637	2,637	2,637	2,637
6. 町民支出金	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441
7. 県支出金	6,927	6,927	6,927	6,927	6,927	6,927	6,927	6,927	6,927
8. 町民収入金	1,215	1,215	1,215	1,215	1,215	1,215	1,215	1,215	1,215
9. 雑収入	4,575	4,575	4,575	4,575	4,575	4,575	4,575	4,575	4,575
10. 地方債	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
入 計	120,760	118,214	126,532	126,240	126,066	126,755	126,013	126,641	126,916
入 出 差	入 出 差	入 出 差	入 出 差	入 出 差	入 出 差	入 出 差	入 出 差	入 出 差	入 出 差
1. 消費的経費	52,558	60,388	62,307	63,645	63,110	62,361	61,819	61,459	61,570
2. 人件費	40,831	41,054	42,721	42,848	42,771	42,609	42,432	42,582	42,582
3. 設備費	29,839	24,065	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500
4. 建設費	28,740	7,964	32,331	32,331	32,331	32,331	32,331	32,331	32,331
5. 普通建設事業費	16,749	6,738	28,761	28,761	28,761	28,761	28,761	28,761	28,761
6. 文書資料費	8,233	592	3,100	285	285	285	285	285	285
7. 災害復旧事業費	3,768	633	4,479	4,479	4,479	4,479	4,479	4,479	4,479
8. 公債費	12,580	12,580	12,580	12,580	12,580	12,580	12,580	12,580	12,580
9. 公債費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
10. 前年度繰上り金	30,366	30,366	30,366	30,366	30,366	30,366	30,366	30,366	30,366
11. 繰上り金	15,484	112,298	174,548	90,154	112,066	80,755	106,013	80,641	101,916
12. 繰上り金	36,084	36,084	36,084	36,084	36,084	36,084	36,084	36,084	36,084

廃鶏による簡易くんせい

の作り方講習会開かる
 廃鶏の利用による農家経済並に食生活改善のため簡易加工によつて農繁期、冬期間の栄養豊かな貯蔵食品加工の簡易くんせい肉の作り方講習会を朝日町畜産振興会並に産業課共催で去る十一月二十八日五ヶ庄農協に於て県食糧指導所釜戸技師を招き開催し受講者の手で作り試食に舌つ

朝日町図出来上る

御家庭に是非一部宛を
 旧泊町他七ヶ村が大同合併して、既に二年有半を経過し、着々新町村建設計画が進められつつあることは誠に喜びに堪えない。然し此の建設計画実施途上に於て幾多の難関に逢着していることも否めない事実である。我々住民は、我々の町、朝日町の全はりを把握し、産業、文化、交

通等あらゆる面に於て、町当局、町民一体となつて考え、そして企画することは、あなたがた徒労ではないと思う。

この考えのもとに、新朝日町の全図を調製して、町民各位に御わかし度いと、企画し、この程刷り上つたので、希望者は支所又は町内会長を通じて申込み度い。

朝日町民生委員

境地区

渡辺秋男 水島ハルエ 水島芳雄 水島こずゑ 根建豊松

宮崎地区 野田隆俊 大平与治 野田みね中谷松之助 嘉義新右エ門 折谷みどり 小塚神龍

泊地区 伊藤幸 坂東幸太郎 丸岡久次 在田秀 川上能夫 増山八郎 柚木あや 大菅佐津喜 加藤たまき 下沢宗行 水島勝栄 木村あや 杉田順子 越間鉄治 中野啓三郎 五箇庄地区

荒木太作 南茂正子 佐原才太郎 金井禮蔵 西村周次

南保地区 下坂菊雄 柴丘仁太 堀地理右エ門 小林良次郎 谷地元清典 勝原林次郎 柚木由松

大家庄地区 高田啓治 廣沢久三 廣川与次郎 柳沢清八 大久保雪子 小川ヨシ 沢田幸次郎

山崎地区 長津喜久 上村市兵衛 山田藩中野松次郎 石田良次郎 秋山順水 山崎神龍 野中地区 大淵昇 沢本啓次 富山雅忠 山本正治 金森文吉 川瀬ひろ

工業統計調査 実施について

通商産業省では本年十二月三十一日現在で、工業統計調査を実施されることになりました。

この調査は、全国の製造工業について、従事者数、原材料の使用額、出荷額等について詳細に調べ、製造工業の面からわが国の経済活動の実態を明らかにする最も重要な統計をつくるために行われるのであります。作成された統計表は、通商産業行政上の資料とするだけでなく、国の諸施策、特に最近では、中小企業対策の基礎資料として、利用されておられ、経済事情を海外に広く紹介す

るための資料ともなっております。このような重要な意義をもつこの調査も、申告者の理解と、協力を得なければ所期の目的を達することができませんので、尚一層の御協力をお願いいたします。

昭和三十一年度 産業別人口調査

昭和三十一年十二月三十一日現在

- で、県と市町村が協同して産業常住人口別人口調査が実施される。
- 調査要綱は次のとおりである。
- 一、調査の目的
- 市町村別に常住人口の分布及びその産業別構成を明らかにして一般行政並びに産業経済活動のための基礎資料を作成するをもつて目的とする
- 二、調査事項
- 1 普通世帯、準世帯別の世帯員
 - 2 普通世帯、準世帯の男女別人数
 - 3 男女の産業別就業者数
 - 4 男女別の理由区分による不就業者数
 - 5 産業別世帯数

学 校 便 り

山のこどもに 一時分校

山崎小学校下の棚田羽入両部落に十二月から来年三月まで冬季一時分校が設けられた。棚田羽入とも山間部落のため積雪が多く学校への通学が困難となりこどもを雪と雪崩からまもるため例年設けられているものである。棚田は一年から六年まで六名で吉島勇先生、羽入は一年から三年まで四十六名で仙仙敏子先生を中心にかつての家庭のあたたかい雰囲気の中にひとりひとりの子供に手をとった指導が行われる。部落の父兄も多期間農閑期を利用しこの一時分校を中心に教育の理解文化教養の向上をはかる大切な機関となる。恵まれない山間部落のこどもが先生と父兄の愛情に包まれてすくすく伸びることを一時分校の開校と共に期待しよう。



へき地のこども

大平分校

雪の早い今年の冬は平地でも既に一〇厘の雪があるが、朝日町でも最もへき地といえる境小学校大平分校は境川ぞいの強い季節風と一米余の雪につまみまわっている。最近へき地教育がとりあげられ文化に恵まれないこどもの教育が強調される折柄大平分校を紹介しよう。

県境の境橋から境川にそって約四野人里離れた境川の左岸急傾斜な山あいの僻かな平たん地に大平分校があり、こゝに大平分校がある。

大平分校は戸数五十七戸、平均耕作反別約三反製炭を業とする者が多く若い者の大部分は出稼に出て老人婦女子が部落をまもり、経済的にも文化的にも恵まれない地域である。

こどもは一年が八名、二年が十四名三年が八名、四年が五名、計三十五名が二学級の複式学級となつてこの分校は歴史が古く部落の先生が教育の重要性を認識し非常な犠牲のもとに明治十五年に分校を開いたもので七十年余の歴史があり、多くの部落の人々を育てた伝統をもつている。現在の校舎は昭和二十八年地方財政の窮乏な折柄にもかゝらず境村及大平分校が大切な田地を割き資材を投じて建設された木造平屋建七十坪屋内体操場四十坪グラウンド百七十坪の充実したものである。

しかし不便なこの分校へ来られる先生が部落の一つの悩みであつたが、

若し熱意に燃える現在の水島琴四郎水島佳子夫妻の両先生が希望してこられ、校舎住宅に住みこみ部落と起居をともにして指導にあたつて居られる。複式学級は時間割の編成は勿論、実際の指導も普通の何倍の努力がこめられている。こゝは家庭をまもる老人婦女子も朝から晩までの労働のためこどもを見るひまがなく教育的環境が悪く文化的におくれている。そこで放送設備をそなえて放送をきかせ学校図書館を充実して現在こども一人当り十二冊の書物をそなえこども新聞を発行するなど施設をととのえ生活経験を豊かにし文化的なおくれを少なくしようと努力して居られるこどもの発育がよくないのでまた学校給食をはじめ、年間を通じて栄養価ある副食をとらせ更に校舎住宅浴場を利用して、週二回入浴訓練により身体を清潔につとめ、加えて農林閑季を利用しての青年学級PTA学級婦人学級を通じての部落民の教育向上など水島両先生のいわゆる部落にとけこむ二十四時間教育の努力



☆☆☆☆☆

昭和三十二年水稻病害虫防除計画成る



朝日町役場産業課並に朝日町病害虫防除協議会で昭和三十二年産水稻病害虫防除計画を左記の通り樹て、適期の防除と薬剤の軽減並に農薬による危害防止から各地区防除員、4 II クラブ、防除員、生産組合等各種団体の協力により共同防除を重点として一斉防除の徹底を期す。

苗代総合防除
苗代全面積に二回の薬剤散布を励行し、銅水銀水和剤反当一袋、又はマラソン乳剤一〇〇瓦を散布する
本田防除
(1)黒穂象防除は発生面積の最少限二回の共同薬剤散布を励行し、バラ

チオン粉剤とRHC3%を加用散布する
(2)二化メイ虫防除は一化期にパラチオン粉剤反当三キロを散布、二化期にBHC3%粉剤又はP

当三キロ散布する
(3)ドロオヒ虫、ウンカ、ヨコバイ類の防除は、ドロオヒ虫にBHC3%粉剤反当二キロ又はEPN乳剤反当六斗散布する
(4)葉イモチ、穂首イモチ病防除は穂首の防除を重点に銅水銀製剤反当三キロ散布また紋枯病、菌核病はツウゼットをまき、白葉枯病に銅水銀粉剤を散布する。

績優良の町内会を左記のとおり表彰致しましたが或る地区に於ては今年度の表彰町内会以上の成績のよい町内会も多くさんありましたが一応一地区一町内会を目標に選定致しました今後一層各納税協力会を活用され納税成績の向上に御協力を御願いたします。

なお昭和三十年年度の地区別納税成績は別掲のとおりであります。

地区名	町内会名
境	境第二町内会
宮崎	元屋敷
泊	下横尾
全(二区)	清水町
全(三区)	荒川一丁目
五ヶ庄	赤川
南保	越
大家庄	三枚橋
山崎	花房
野中	下野

●輝く納税

優良町内会の表彰

本年も例年のとおり十一月三日の文化の日をトし各地区毎に最も納税成績

朝日町スキークラブ誕生

去る十四日、南保小学校長小川弥一氏、三峰スキークラブの勝田忠雄氏、教育委員会の清水民夫氏等数名が発起して、朝日町のスキーヤーを糾合して、朝日町スキークラブを結成することについて準備会を、教育委員会会議室で開催、左の通り役員を決定、スキーを通じて、朝日町の体育の向上は期して待つべきものがある。愛好者の加入を待っている。

会長 小川弥一 副会長 勝田忠雄
顧問 大平勝雄 池原啓三 福田舜治 川上嘉一 高橋宗繁
理事長 加藤太郎
理事 高橋喜義 折戸仁作 竹内俊一 長津高雄 長谷佐多 義村上讓 車谷仁男 清水民夫
技術員 中島久夫 広田敏男 松原達雄

朝日町の人口動態

(昭和三一・一〇月一二月)

出生 (一〇月)

境	宮崎
末上浩二	根建 学 加藤伸洋
山口正之	荒尾英恵 下沢万里子
下沢玲子	寺崎陽子 東 龍昭
尾崎美子	島端久美子
五ヶ庄	永井靖裕 志鷹 寛 佐渡 仁
大家庄	清水通哉 沢井美穂子 藤田正良
山崎	九里明美 鍋島早百合 安達秋江
野中	右井豊彦 山岡久嗣
境	寺田悦博 根建悦美 水島直子

死亡 (一〇月)

宮崎	笹川
水島治夫	小林常一
藤田茂雄	上沢保子 大谷佳子
川上雅則	湯島 進 寺田晴美
白本悦子	寺田洋子 大平美子
五ヶ庄	高島道子 広幡 正 金井利勝
山本孝一	佐渡美鈴
大家庄	沢田孝樹
山崎	江端陽子 谷 徳幸
野中	堀川悦子 右井孝典 窪野玲子
死亡	笹川 内はる
久野木長次郎	尾崎美子
山田秀政	野沢力次郎
五ヶ庄	大森仁太郎 追分きく 松田ちあ
追分重次郎	大家庄
渡辺すい	藤田文平
山崎	赤川すげ 道島ふじ 上 香純
野中	水島作次郎 小川ちよ
境	大平そす 水島りよ 福平清次
泊	岡本捨次郎 伊藤京子
荒尾ハツイ	五ヶ庄
折戸よし	浜川のせ 西村清造
大家庄	清水とき
山崎	真部辰之助 名越作次郎
七沢次吉	

商工相談室

日本商工会議所及び全国商工会議所主催で全国的に十月一ヶ月間「商店サービス強化運動」が行われ、全町商店街及商店は、あげてサービスの向上に努め、消費者に信頼されるお店へと協力された、特に中町商盛会が果商工連合会長賞をかく得。

朝日町青色申告納税組合(会員六五名、会長松原三郎)は、魚津税務署より管内唯一の納税一〇〇パーセント完納と協力につき表彰された。

国民金融公庫

国民金融公庫当会の利用度は年末に当り、急ピッチし現在百数条件で一千数百万円に達し、町民経済の維持発展に、大いに利用されています。又事業資金を必要とされる方は、何時でも受付けています。

青色申告について

青色申告をしようとする方は、期限が三十二年三月十五日ですが、記帳は一月一日よりしなければなりませんから今から準備をして置きましょう。

編集後記

年末をひかえて、スエズ問題、ハンガリーの動乱等国際情勢の緊迫は、なお樂觀許さず。

日ソ国交恢復後、日本国連加盟の実現、そして日本政党史初めて見る政党総裁の登場で、さて来年は「とり」の年、足元から何がとび出すことやら。

意外に早かった雪に見舞われて、交通も一部マヒの状態におかれた当地方は、あたたかい雪の師走である。無事御越年を祈念して、昭和三十一年に決別する。